

安全にご使用いただくための注意事項

ご使用(据付、運転、保守、点検等)の際には、必ずこの説明書を熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

本編では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。



危険

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意**に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
また、以下の記載で「電動機」には、モータファン・ポンプ・モータ用減速機等の応用製品も含まれます。



危険

【全般】

爆発性雰囲気中では使用しないでください。けが、火災等の原因になります。

通電状態で移動、配線、保守・点検等の作業をしないでください。必ず、電源を切って数分してから作業してください。やけどや感電の恐れがあります。

運搬、設置、配管・配線、運転・操作、保守・点検の作業は専門知識のある人が実施してください。感電、けが、火災等のおそれがあります。

【配管・配線】

配線は正しく、確実にこなしてください。感電、火災、暴走のおそれがあります。

電源ケーブルやモータリード線を無理に曲げたり、引っ張ったり、はさみ込んだりしないでください。感電のおそれがあります。

【据付・調整】

電動機、制御装置のアース端子またはアース線は必ず接地してください。感電のおそれがあります。

電子部品等をモータから離してご使用ください。故障、火災の原因となります。

天井や壁へ電動機を取り付けて使用する場合、条件によっては落下の恐れがあります。重量及び出力を考慮して確実に取り付けてください。けがのおそれがあります。

【運転】

活電部が露出した状態で運転はしないでください。感電のおそれがあります。

運転中、回転体(シャフト・羽根等)へは絶対に接近又は接触しないでください。巻き込まれ、けがのおそれがあります。

制御回路内部には絶対に手を触れないでください。感電のおそれがあります。

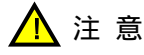
停電した時は必ず電源を切ってください。突然回りだす場合があります。けがのおそれがあります。

電動機は突然回転不能になる場合があります。

回転不能になっても、人の生命・身体又は、財産に損害が発生しないよう安全策を設けてください。

制動装置付電動機の制動装置は確実に負荷を固定するものではありません。確実に固定する場合は別系統の制動装置を設けてください。

装置破損、けがのおそれがあります。



注意

【全般】

電動機、制御装置の仕様を超えて使用しないでください。感電、けが、破損等のおそれがあります。

電動機、制御装置の開閉口に指や物を入れないでください。感電、けが、火災等のおそれがあります。

損傷した電動機、制御装置を使用しないでください。けが、火災等のおそれがあります。

お客様による製品の改造は、当社の保証範囲外ですので、責任を負いません。

銘板が常に見えるように障害物を置かないでください。

銘板を取り外さないでください。

【輸送・運搬】

運搬時は、落下、転倒すると危険ですので、十分ご注意ください。

【開梱】

現品が注文通りのものかどうか、確認してください。間違った商品を設置した場合、けが、破損、火災等のおそれがあります。

【据付・調整】

電動機の周囲には可燃物を絶対に置かないでください。火災の危険があります。

電動機の周囲には通風を妨げるような障害物を置かないでください。冷却が疎外され、異常過熱による爆発、引火、やけどの危険があります。

電動機を負荷と結合する場合、芯出し、ベルト張り、チェン張り、プーリーの平行度等にご注意ください。直結の場合は、直結精度に注意してください。ベルト又はチェンを使用するときは張力を正しく調整してください。

また、運転前には、プーリー、カップリングの締付ボルトは確実に締め付けてください。破片飛散によるけが、装置破損のおそれがあります。

回転部分に触れないようカバー等を設けてください。けがのおそれがあります。

機械との結合前に回転方向を確認してください。けが、装置破損等のおそれがあります。

電動機、制御装置には絶対に乗らない、ぶらさがらないようにしてください。けがのおそれがあります。

電動機の軸端部のキー溝は、素手でさわらないでください。けがのおそれがあります。

【配管・配線】

絶縁抵抗測定の際は、端子に触れないでください。感電のおそれがあります。

保護装置は、電動機に付属していません。過負荷保護装置を設けてください。過負荷保護装置以外の保護装置(漏電遮断器等)も設置することを推奨します。焼損や火災のおそれがあります。

【運転】

運転中、電動機、制御装置はかなり高温になります。手や体を触れないようご注意ください。やけどのおそれがあります。

電動機と制御装置は指定された組合せでご使用ください。火災、故障発生の原因となります。

水のかかる場所や腐食性の雰囲気、引火性のガスの雰囲気、可燃物のそばでは使用しないでください。火災故障発生の原因となります。

異常が発生した場合は直ちに運転を停止してください。感電、けが、火災等のおそれがあります。

【保守・点検】

絶縁抵抗測定の際は、端子に触れないでください。感電のおそれがあります。

電動機、制御装置のフレームは高温になるので、素手で触らないでください。やけどのおそれがあります。

【保管】

雨や水滴のかかる場所、腐食性のガスや液体のある場所、高温又は高湿の場所では保管しないでください。漏電、故障の原因となります。

【修理・分解・改造】

修理、分解、改造は、行わないでください。

感電、けが、火災等のおそれがあります。